

コバノクロヅル

[木本] 《嗜好》



初夏に開花する。



鋸歯は内曲がりし、側脈は湾曲する。



果実の翼が特徴。

区別のポイント

果実に3枚の大きな翼がある。高地にられる。

形態 落葉藤本。

分布 九州南部・屋久島

名前の由来 黒いつる（実際は赤褐色のつる）。

葉 〈全体〉卵形で長さ5～10 cm、幅3～6 cm。

〈付き方〉互生。

〈葉柄〉5～25 mm。

〈基部〉やや円形。

〈葉先〉急に細くなり鋭尖頭。

〈縁〉先端が内曲がりする鈍鋸歯。

備考

出典 1